

問診票を活用した声掛けをお願いします

-ジェネリック医薬品の使用割合向上に効果あり-

協会けんぽ愛知支部では、平成30年度に津島海部薬剤師会の協力を得て、問診票を活用したジェネリック医薬品の使用促進事業を実施しましたので、結果をご報告させていただきます。

貴薬局におかれましても、**今お使いの問診票に理由欄を設けるなど一工夫**してお声掛けいただき、ジェネリック医薬品の使用促進にご協力をよろしくお願いいたします。



事業内容

調剤薬局で患者様に初回問診票を記入いただく際、ジェネリック医薬品の希望を確認する欄に「**希望しない理由**」も書いてもらうことで、薬剤師様からその理由に対する**適切な説明**をいただき、ジェネリック医薬品の選択につなげていただく。

※平成30年6月～8月に津島海部薬剤師会の45薬局に協力いただき実施しました。

理由確認欄を設け、適切な説明を行うことがポイント!

※協会けんぽで作成した問診票（下記実施結果③）

問診票

（患者様の状況を把握し安全にお薬をお使いいただくための記録）

ジェネリック医薬品希望 <small>（主成分が同じで価格の安いジェネリック医薬品への希望を確認します）</small>	① <u>希望する</u> ② <u>どちらでも良い</u> ③ <u>希望しない</u> （②③に該当された方へ あてはまるものに○をつけてください）
	<ul style="list-style-type: none"> ・医師にすすめられなかったから ・品質に不安があるから ・よくわからないから ・その他（

実施結果

新たに「理由確認欄」を設けて説明いただくことで通常（④参加なし）よりジェネリック使用割合が向上しました

A.前年同時期との比較	H29年 6～8月平均	H30年 6～8月平均	H29年とH30年の 差
①すでに実施している（9薬局）	77.0%	79.1%	2.2%
②現在使用している問診票に理由確認欄を追加（28薬局）	71.4%	77.8%	6.4%
③協会けんぽ作成の問診票を使用（8薬局）	77.7%	84.4%	6.7%
④参加なし（103薬局）	67.7%	72.8%	5.1%

④参加なしとの比較↓

+1.3%

+1.6%

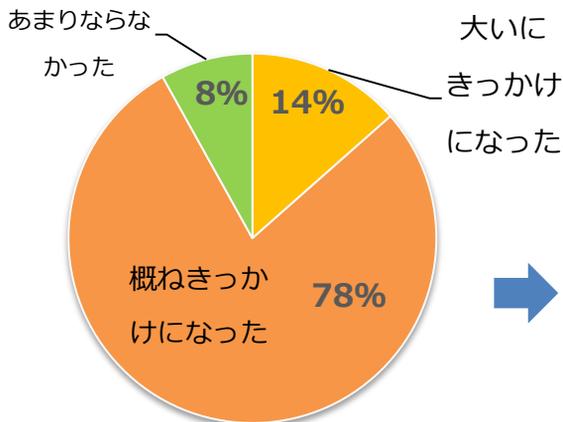
B.直前月との比較	H30年5月	H30年 6～8月平均	H30年5月とH30年 6～8月平均の差
①すでに実施している（9薬局）	80.0%	79.1%	-0.9%
②現在使用している問診票に理由確認欄を追加（28薬局）	75.4%	77.8%	2.4%
③協会けんぽ作成の問診票を使用（8薬局）	81.3%	84.4%	3.1%
④参加なし（103薬局）	70.7%	72.8%	2.1%

+0.3%

+1.0%

アンケート結果

Q 問診票のジェネリック医薬品希望欄に「理由欄」を設けた（設けてある）ことが、患者様に説明を行うきっかけになりましたか。



9割以上がきっかけに!

また、「理由欄に対して患者様にご説明いただいたことで、ジェネリック医薬品への切替えにつながりましたか」との質問に対しては

- ・ほとんどの方が切替えた：11%
- ・概ね切替えた：72%

と回答いただきました。



▶ ジェネリック医薬品の希望は、最近確認されましたか？

調剤のつど、ジェネリック医薬品の希望を確認されている薬剤師様も多いと思いますが、患者様が最初に薬局に来られた時にしか希望を確認していない場合は、ぜひ最近の希望を確認してみてください。

「**医師や薬剤師から話をしてくれないと自分からは言い出せない**」と感じられている方が**21.4%**（※）いらっしゃいます。薬剤師様からの積極的なお声掛けをよろしくお願いいたします。

※医療と健康保険に関する意識等調査報告書 H27.10協会けんぽ

協会けんぽ愛知支部からのお知らせ（インセンティブ制度）

平成30年度から協会けんぽでは、加入者・事業主の健康（づくり）への行動によって、47都道府県支部をランク付けし、上位23支部にはインセンティブが与えられて健康保険料率が引下げされる仕組みがはじまりました。

この健康づくりの5項目の一つにジェネリック医薬品の使用割合が入っており、ジェネリック医薬品の使用促進は、医療費削減に加え健康保険料率の引下げにも直接つながることとなります。

愛知支部はジェネリック医薬品の項目では中位にいますが、健診受診率や特定保健指導の実施率が低く、インセンティブ制度全体では下位となる見込みです。より一層のジェネリック医薬品の推進にご協力をよろしくお願いいたします。

▶ 後発医薬品の使用割合（インセンティブ制度における得点比較 H30.4-8月平均値）

